

わだいな

身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当 ☎ 026550(役場1階・町長懇談室)までお知らせください。
皆さんからの情報をお待ちしています!!



地域の皆さんに愛される観光名所へ

ブルーメの丘15周年を迎える

4月22日(日)、滋賀農業公園ブルーメの丘(山添隆弘支配人)で15周年記念式典が行われました。ブルーメの丘は平成9年4月19日、四季折々の花や豊かな自然を感じることできる農業公園として開園しました。15年間の来場者は約620万人。町の一大観光施設となっています。

支配人からは「地域の皆さんのご協力により15周年を迎えることができました。これからもたくさんの方に喜んでもらえる施設となるよう頑張りたい」と挨拶があり、この15年間ともに歩んでこられた団体の方などへ感謝状を贈呈されました。



▲4月下旬に見ごろを迎えたチューリップ。15周年を迎えた後もたくさんの方が訪れています。

子どもの読書活動推進フォーラム

日野小学校が文部大臣賞を受賞



▲読書を楽しむ子どもたち



▲表彰状を手にする北川校長

4月23日(月)、日野小学校(北川昌美校長)が子どもの読書活動推進フォーラムで文部大臣賞を受賞しました。

日野小学校は、ボランティアによる本の読み聞かせや朝読書活動、全校読書集会、音読会など全校的な読書活動の取り組みを継続して行った成果をたたえられ、文部大臣賞を受賞することができました。

町では今後も学校図書館司書を中心に子どもの読書活動を推進していきます。

今年も美しく咲いてくれました

鎌掛溪ホンシャクナゲ群落

毎年4月下旬から5月上旬にかけて鎌掛溪のホンシャクナゲ群落には大勢の観光客が訪れます。今年の見ごろは、例年よりも遅くゴールデンウィークの後半となりました。

4月28日(土)から5月6日(日)までの観光期間中には、約5,000人の観光客が訪れ、一帯に咲き誇るホンシャクナゲを楽しまれました。訪れた観光客は「ホンシャクナゲと雄大な自然を楽しみました」と散策を満喫されていました。



▲淡いピンクのホンシャクナゲ



▲遊歩道からはカーネーションツバキも見ることができました



▲美しいホンシャクナゲに見入る観光客



まちの



▲曳山、お神輿、祭囃子・・・綿向神社は大盛り上がり

800年の伝統 日野祭

今年も神輿と曳山で賑わう

湖東地域最大の春祭り「日野祭」が絢爛豪華に催行されました。5月3日(祝)の本祭では、馬見岡綿向神社に10基、ひばり野に1基の曳山が集結し、祭りを盛り上げました。

当日は祭りの棧敷窓アートも開催され、日野ならではの棧敷窓のある町並みを地元工芸作家の作品が彩りました。通りのあちらこちらで祭囃子の音色や神輿を担ぐ掛け声などが響きわたり、辺り一面お祭りムード一色に染まりました。



▲綿向神社からお旅所へ

▶手作りの曳山模型。曳山の細部まで再現されています



▶子どもサイズの曳山も登場



▲「お祭りって楽しいね」



▲棧敷窓の町並みを散策

子どもは地域のたから

各公民館で「こども大会」を開催



▲コロコロ転がしてアイス作り
(日野公民館こども大会)



▲協力してソーセージ作り
(東桜谷公民館子どもの日の集い)

5月5日(土)、6日(日)、13日(日)、町内各公民館で「こども大会」が開催されました。各地区それぞれ工夫を凝らした内容で、どの会場でも子どもの笑顔があふれていました。

東桜谷公民館では、ブルーメの丘へハイキングへ出かけソーセージ作りを体験されました。子どもたちは友達と協力しながらソーセージを作り、おいしそうに食べていました。

日野公民館では、竹馬や水鉄砲などの昔遊びや「コロコロアイス作り」、アイロンビーズ作り等たくさんの方の体験に夢中で挑戦していました。